

(本発表のお問い合わせ先)
 ICT推進室
 広報資料取扱主任：柴田 憲志
 担当：平井 賢太郎
 電話 839-2172

【市長定例記者会見】防災分野の広域都市間情報連携に向けた実証研究事業を実施します。

本市では、スマートシティたかまつの実現に向けた取組の一環として、河川や海岸部に水位・潮位センサー等を設置し、水位や潮位データをIoT共通プラットフォーム(FIWARE)に収集して見える化するなど、ICT・データを活用した、効率的・効果的で迅速な災害対応を目指した取組を推進しています。

この度、瀬戸・高松広域連携中枢都市圏の綾川町、並びに観音寺市、スマートシティたかまつ推進協議会の会員である日本電気(株)と連携し、本市のIoT共通プラットフォーム(FIWARE)を活用して、広域で災害情報を共有する仕組み(アーキテクチャ)について、実証研究事業※を実施します。

具体的内容

①異種データの収集

- ・綾川町、観音寺市に水位センサー等を設置し、データ収集
- ・官民の異なるデータシステムから水位、気象、交通等、防災・減災に必要なデータを収集

②異種データ連携システムの構築

- ・収集した異種データを標準統一データ形式に変換

③AI水位分析

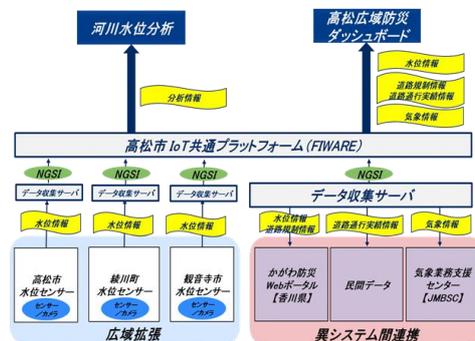
- ・水位と雨量等との関係を見える化

④ダッシュボードの共有

- ・異種データの一元表示により、状況や関係性を迅速に把握

また、このような周辺自治体との広域共同利用モデルの構築に必要なルールや仕組みなどについても研究します。

<実証事業のイメージ>



※この取組は、内閣府「戦略的イノベーション創造プログラム(SIP)第2期/ビッグデータ・AIを活用したサイバー空間基盤技術におけるアーキテクチャ構築及び実証研究」(管理法人:国立研究開発法人新エネルギー・産業技術総合開発機構(NEDO))に日本電気(株)が採択を受け、実施するものです。